



## イ 障がい児・者へのスポーツ支援

### ■ 地域で支えるインクルーシブ啓発事業の推進

#### ● ラポール上大岡との協力・連携

障がい者のスポーツや文化活動の新たな支援拠点の「ラポール上大岡」と連携して、健常者・障がい者がともにスポーツに親しむ機会の提供や健康づくりを支援します。

また、地域スポーツの担い手である、スポーツ推進委員、さわやかスポーツ普及委員、地域指導者等を対象として、障がい者スポーツ講習会を実施します。

第4期指定管理においても共生社会の実現に向け、障がいの有無に関わらず誰もが身近な場所で継続的にスポーツを楽しむ機会を創出します。

**障害者の文化・スポーツ活動を両施設がサポートします！**

障害者スポーツ文化センター  
横浜ラポール(新横浜・上大岡)

スポーツ文化施設の利用  
各教室体験

港南スポーツセンター

各教室体験  
ポッチャ体験  
中途障害者リハビリ教室

**きっかけづくり & 継続実践場所**



ラポールと連携したポッチャ講習会



簡単コートを活用したポッチャ体験



グラウンドゴルフ体験

#### ● イベントでの交流促進

港南区では、港南区障害者団体連絡会主催による港南区ふれあいスポーツ交流会が毎年開催されています。

私たちは、毎年このイベントの企画や、軽スポーツ体験ブースの運営に協力し、スポーツが交流の場となるよう支援します。



港南区ふれあいスポーツ交流会

#### ● ボッチャによる障がい者との交流事業

当団体はインクルーシブスポーツ啓発活動のためにパラリンピック種目「ボッチャ」を105セット保有し、ランプ、リリーサーも貸し出するほか、横浜ラポール監修『ボッチャを楽しもう！ルールブック』を作成しました。港南区普及委員会と一緒にボッチャによる障がい者との交流事業（練習会や大会）を継続します。





### ● リハビリスポーツの継続的な支援

区内にある中途障害者地域活動センター「ワークアップ港南」や地域活動支援センターの通所者を対象にストレッチ体操やボッチャ・ペタンク等を初級障がい者スポーツ指導員の資格を有する職員が担当します。

自主グループや中途障害者活動支援センター、地域で暮らす中途障害者のスポーツを楽しむ機会や参加者同士の交流・情報共有の場となり、スポーツを通して成功体験による自信・意欲の獲得や、社会参加機会の拡大を図ります。



定期的な運動指導  
ワークアップ港南

### ● 特別支援学校との交流

障がいのある子どもたちに、スポーツを通じて元気を届け、スポーツへの興味・関心を高めるとともに体力の向上を図ることを目的として「こどもスポーツ基金」を活用したイベントを開催しています。

第4期指定管理期間においては、港南区内にある「港南台ひの特別支援学校」「日野中央高等特別支援学校」と連携し、児童・生徒が継続的に運動ができる機会を提供します。



横浜こどもスポーツ基金活用事業  
リズムダンス教室

### ● かながわプレジョブスクールの自立の支援

若者の自立や働くきっかけをつかむための学びの場である「かながわプレジョブスクール」でストレッチ体操や卓球・軽スポーツ等の指導を行っています。

楽しく体を動かし体力をつけ、参加者同士の交流やスポーツを通しての成功体験による自信・意欲の獲得や、新しい進路へ一歩を踏み出せるよう引き続き支援します。



定期的な運動指導

## ウ 次世代育成支援への取組

### ● 子育て世代や子どもたちが安心して過ごせる居場所づく

第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画では、生まれる前から青少年期までの切れ目のない総合的な支援を推進しています。

私たちは、教室の参加者を対象とした託児サービス（一時保育）を拡充するほか、横浜市の子育て家庭応援事業「ハマハグ」の協賛認定施設として、ロビーや託児室を開放することで、子育て世代や子どもたちが安心して過ごせる居場所を作り、子育てサービスの充実を図ります。

また、託児室に授乳スペースを確保し、親と子、そして子育て世代の交流の場となるよう「親子ステーション」として開放します。



こうなん子育て応援ガイドブック  
「ひまわりまっぷ」



● 地域子育て支援拠点「はっち」との連携

私たちは、地域子育て支援拠点「はっち」や港南区福祉保健センターこども家庭支援課と連携し、支援の場や機会の拡充を図るとともに、子育て支援ネットワークを主体とした交流イベントを協働で実施します。



スポーツレクリエーションフェスティバル  
「はっち祭」

■ 子どもの体力向上への取組

横浜市は、横浜市スポーツ推進計画において「子どもの体力向上事業の実施及び拡充」を掲げています。私たちは、スポーツセンターで開催する子ども対象教室のほかに、小学校や幼・保育園において子どもの体力向上事業を積極的に行います。



保育園児対象：体操教室  
上大岡ゆう保育園

● 幼児期からの子どもの体力向上への取組

私たちは、幼・保育園への「はつらつキンダー」訪問プログラムを実施しています。遊びを通して幼児期に多様な動きを身に付けるとともに、生涯にわたって運動を楽しむための基礎的な力を発達させます。

港南区福祉保健センターこども家庭支援課と連携し、「保育士向け運動指導研修」を実施することで保育士の運動指導スキル向上や幼児期における運動習慣の啓発や保育園における持続的・継続的な運動・スポーツの実施を図ります。



運動指導用 DVD 活用研修  
会場：港南スポーツセンター

● 小学校における『体力向上プログラム』の展開

私たちは、学校と家庭、地域と協力しながら児童が関心を持てる運動やスポーツを「中（昼）休み」や「委員会活動」等の時間で継続的に取組めるよう、「体力向上プログラム」を展開します。児童が定期的に運動に親しむ機会を設けることで、主体的・日常的に体を動かし、適切な運動習慣を身につける一助となります。

港南区内小学校の「学校保健委員会」と連携し、委員児童と教職員、PTA に健康と運動の必要性について講義や実技を行い、児童の主体的な活動を促します。



けが予防・スポーツリズムジャンプ  
(港南台第3小学校)

■ 第3期指定管理期間（平成28年～令和元年）に訪問した保育園および小学校

保育園 および 小学校 名	延人数
保育園：上大岡東、野庭、野庭第二、港南ひまわり、港南台第二、笹下南、大久保つくし、かみおおおか 小学校：桜岡、芹が谷、日野南、日下、丸山台、相武山、芹が谷南	13,396 名



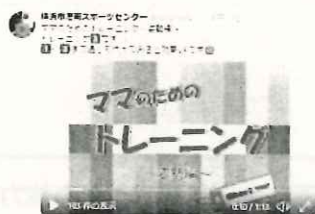
● 『ハマスポチャレンジ動画』の展開

当団体は、感染症拡大防止対策で学校が休校等により直接訪問できない場合に備え、体づくりを目的とした動画を作成しています。

学校や自宅において気軽に運動ができるよう、SNS を活用した配信や小学校ホームページへの掲載および動画の提供により、運動機会の減少による体力低下を防止する取組を行います。



小学校・体操 DVD 作成  
Twitter で配信



横浜市港南スポーツセンター  
YouTube で配信



体育授業のポイントを動画で提供

エ ラグビーワールドカップ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックのレガシー継続

世界的なスポーツの祭典の自国開催は、市民のスポーツ関心度や子どもたちが生涯に亘ってスポーツに親しむための、絶大なチャンスと捉えています。私たちは、港南区民の皆さまに世界的なスポーツの祭典のレガシー「長期にわたる・特にポジティブな影響」を遺せるよう、取り組みます。

■ 団体の組織力を活かします！

当団体の組織力を活かし、オリンピック・パラリンピックの出場経験を持つトップアスリートを招いた体験や国際交流のイベントを積極的に行っていきます。区民の皆さまに、オリンピック・パラリンピックをはじめとする「する」・「みる」・「ささえる」スポーツをより身近に感じていただけるよう啓発事業に取り組みます。

● オリンピアンイベント

第3期指定管理期間には、オリンピックを招き小学生対象のイベントを毎年開催しました。第3期に開催した体操教室では、オリンピックから直接指導を受けることにより、「楽しかった」「もっと体操を習いたい！」など参加者からお言葉をいただき好評でした。第4期指定管理期間においてもオリンピックを招きスポーツイベントを開催します。



2012年 ロンドンオリンピック出場「男子団体総合銀メダル」田中和仁さんの体操教室

● Impact Beyond 2019 レガシー展示

日本中を熱気に包んだラグビーワールドカップ 2019™ 決勝戦は、当団体が管理する日産スタジアムで開催されました。港南区の皆さまにレガシーを遺すために、当団体スタッフが帯同した日本代表チームの選手サイン入りジャージや記念写真を展示したコーナーを設置します。



### ● J P P C 公認事業スポーツ安全普及イベント

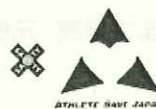
第3期指定管理期間では、港南区制50周年記念共催事業として「いのちの教室&かけっこ教室」を実施しました。アスリートセーブジャパンアスリートである陸上のスプリンターを講師に招き、かけっこ教室と、いのちの大切さや有事の際に役立つAEDの使い方学びました。第4期指定管理期間においても日本公共スポーツ施策推進協議会推奨事業「いのちの教室&スポーツ教室」を開催します。



いのちの教室



かけっこ教室



## エ 地域の健康づくり

港南区の平均寿命と平均自立期間は18区中、男性が9位、女性が10位です。男女ともに横浜市の平均をわずかながら上回っています。(区別生命表・平成27年参考) 横浜市では、「健康寿命日本一のまち」を掲げ、「よこはまウォーキングポイント事業」を導入しており、市民の健康づくりにウォーキングは欠かすことのできない運動となっています。

第4期指定管理においては、引き続きウォーキングへの取組を意味づけ、地元の魅力発信、地域の健康づくりを推進していきます。また、「港南ひまわりプラン」を重点取組として、生活習慣病予防や健康経営への協力、疾病予防の普及啓発、介護予防に向けたプログラムを区内全域で実施します。

### ■ ウォーキングから始まる地域の健康づくり

私たちは、「健康アクションこうなん5」の1つである「歩こう! 毎日」に協力し、港南区の魅力スポットを巡りながら気軽に参加できるウォーキング事業を実施し、地元の魅力発信、港南区への集客、区民の健康づくりを推進します。

### ● 多彩なウォーキングプログラムの提供

私たちは、当団体の管理施設である横浜市スポーツ医科学センターの医師や理学療法士等と歩行動作に関わる研修会や情報交換を定期的に行っています。港南スポーツセンターで開催する教室や地域の派遣指導において、多彩なウォーキングプログラムや安全で効果的なアドバイスを提供します。



糖尿病予防講座「姿勢測定」

### ● 地域団体と協働したウォーキングの取組

私たちは、港南区福祉保健センターや自治会、町内会、各地区の保健活動推進員と連携し、地域のコミュニケーションイベントとして多世代が参加できるウォーキング講座やイベントを開催します。



## 子どもから大人まで健康・元気！ ～港南ひまわりプランへの協力～

港南区の全体の人口は、今後も減少が見込まれ、一方で高齢者の占める割合は上昇するが、世帯数は減少し、一方で単独世帯の割合は上昇していくことが見込まれます。

このような高齢化の進行やライフスタイルの多様化などで人とのつながりや助け合いが薄れている中で、一人ひとりが身近な地域で安心して健やかに暮らしていくためには、港南スポーツセンターでは、港南区福祉保健センターと連携を図り、疾病予防講座やフレイル予防、子育て世代への健康・運動啓発を通じ、食育を含めた生活習慣の見直しのためのプログラム提供、健康経営の支援等「子どもから大人まで健康・元気」をテーマに、港南区運営方針に沿った取組をおこないます。

## 2025年に向けた横浜型地域包括ケアシステム構築のための支援

港南区の高齢化率、特に75歳以上の後期高齢化率は高い水準にあります。

団塊の世代が75歳を迎える2025年を目途に、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、区役所や関係機関と方向性を共有し、地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいきます。



横浜型地域包括ケアシステム構築に向けた港南区行動指針

### ● 介護予防リーダー育成支援

私たちは、高齢者の不活発な生活による心身機能の低下やフレイル予防のために、港南区福祉保健センター高齢・障害支援課と連携し、元気づくりステーション及び自主的に介護予防の活動を進めるリーダー育成に取り組めます。また、港南区内の18か所で設立された「元気づくりステーション」において、自主的な健康づくり活動が継続できるよう、サポートをします。



元気づくりステーション「のびるの会」  
ロコモ予防体操指導

## オ 地域指導者の養成と育成

当団体が主催する「横浜市スポーツ・レクリエーション人材養成講座」や人材活用システムの登録者に対して実施する研修会では、当団体の専門的知識を有する有資格者が実技指導及び講義を行います。人材養成講座修了者や養成中の指導者に、実践研修の場を設けることで地域指導者の質的向上に努めます。身近な地域で活動できるよう、地域での健康づくりに積極的に協力します。

### ● 介護予防運動指導員の養成事業

当団体は、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所認定の科学的エビデンスに基づく介護予防サービスの提供、運動指導員の養成を認められた指定事業者です。平成30年度から開始した養成講座では約50名の運動指導員を輩出し、介護予防のスペシャリストとして地域で活動しています。



介護予防運動指導員講座



● 港南区内で活躍する 11 人の地域指導者のみなさん

当団体は地域からの幅広い運動・スポーツ指導に対応していくために「横浜市人材活用システム」を管理運営しています。港南区では 11 人の登録があり、スポーツセンターの教室事業や地域ケアプラザをはじめ区民利用施設、町内会や保育園での指導で活躍しています。



地域ケアプラザでの体操指導

横浜市人材登録システム港南区登録者の活動状況（平成 30 年度）

主な活動先	指導回数・延べ参加人数
地域ケアプラザ：日下、東永谷 地区センター：永谷 自治会館：日野町内会館、芹が谷町内会館、大久保長宇内会館	568回/14,732 名

(2) 地域連携の取組

スポーツを通じた「活気にあふれるまちづくり」

私たちは、港南区役所地域振興課や高齢・障害支援課や福祉保健センターと協働しながら、区のスポーツ団体の皆様と協力・連携して、港南区民のスポーツ実施率向上と健康づくりに貢献していきます。スポーツを通じて「活気あふれるまちづくり」を目指します。

ア 地域団体等との協力・連携によるスポーツ振興

■ 港南区スポーツ協会との連携

港南区スポーツ協会は、当団体の加盟団体であり、港南区スポーツ協会主催の地域貢献事業への運営協力をはじめ、総会や各部会議に出席し、助言や情報共有等を行うなど支援をしています。今後も、港南区のスポーツ振興における強力なパートナーとして、新たな公益活動を自主的に運営できるよう支援を継続し、区民の多種多様なスポーツ活動の要望に応えていきます。



リハビリ教室  
(港南区スポーツ協会協力)

● 区スポーツ協会・こうなん文化交流協会事務局スペース配置への協力

現在、港南スポーツセンター内に設置されている港南区スポーツ協会・こうなん文化交流協会の事務局については、覚書を締結し、設置協力をします。また、賛助会員としての協力や事務作業へのアドバイスなどの運営支援を行います。



港南区スポーツ協会  
こうなん文化交流会事務所

● スポーツ用品リサイクル活動の実施

港南区スポーツ協会と協力し、スポーツ用品リサイクル情報コーナーを作ります。加盟団体へ呼びかけ、野球のグローブなどのリサイクル化を図ります。スポーツをしたくてもできない子どもたちを作らないために、イベント時は多くの区民に呼びかけ、多くの用具が集まるように規模を拡大して行います。



### ■ 港南区スポーツ推進委員連絡協議会との連携

港南区スポーツ推進委員連絡協議会は、港南区発祥の「こうなんフアジーバレーボール」「港南区健康ランニング大会」や地域におけるラジオ体操指導など幅広い事業を実施しており、各地域で欠かせない存在です。私たちは、第3期指定管理期間において、連絡協議会が開催した研修会やフェスティバルで事業協力等、相互連携を図ってきました。

第4期指定管理においても、地域に精通する委員の方々と共に港南区のスポーツ振興を図ります。



スポーツレクリエーションフェスティバル  
さわやかスポーツ体験指導

### ■ 港南区シルバークラブ連合会との連携

超高齢社会における地域社会の活力の低下や、単身世帯の増加に伴う高齢者の孤立化の問題が混在化しつつあります。このような中で、高齢者がスポーツやレクリエーション、健康づくり事業に身近に参加することで、運動を通じて健康で生きがいのある日常を実現できるよう協働し、「シニア大学」、「シルバースポーツ大会」、「室内スポーツ体験」の指導・運営協力など、高齢者の自主的なスポーツ活動の推進を図ります。



シニア大学



シルバースポーツ大会



講演会

### ■ 港南区保健活動推進委員会等との連携

「港南区保健活動推進委員会」「港南区食生活等改善推進委員会」など各団体と、ハマトレやウォーキングなどの指導・協力、相互連携を図り、区民の自主的な健康づくりの推進を図ります。また、健康遊具が設置されている公園を活用し、ウォーキングと健康遊具を組み合わせた事業を実施し、健康への理解と地域コミュニティを深めます。



港南区食生活等改善推進委員会主催  
ハマトレ講演会

### ■ 港南区さわやかスポーツ普及委員会との協力・連携

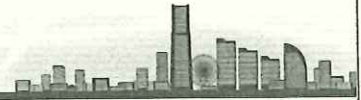
ヨコハマさわやかスポーツは「いつでも・どこでも・だれにでも」楽しめるよう、ニュースポーツを使った地域ぐるみのスポーツ推進活動として昭和62年に始まりました。

当団体は、港南区さわやかスポーツ普及委員会とともに33年間、地区活動や大会を支援してまいりました。今後も、子どもから高齢者、障がい児・者の方へスポーツの楽しさを伝えるとともに、区内スポーツ団体と連携を図り、ヨコハマさわやかスポーツを推進していきます。



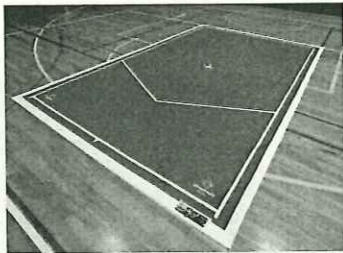
港南区さわやかタイム





● 港南区で盛んな「ボッチャ」は地域の交流ツール

私たちは、港南区さわやかスポーツ普及委員会と共に、地域活動団体や区内学校等へ出向き、ボッチャをツールとして地域交流を図ります。また、地域で開催されるボッチャ大会などの運営サポートも行います。



横浜ラポールからリースしている  
ボッチャシート



ランプを使用した体験会



日野南地域ケアプラザボッチャ体験会

■ 一般社団法人こうなん区民施設協会との連携

こうなん区民施設協会は、地区センター・コミュニティハウス10施設と港南区民活動支援センターの管理運営を通じて、「生きがいのある暮らしづくり」「活力ある地域社会の実現」を図る様々な事業に取り組んでいます。第3期指定管理期間では、隣接する港南地区センターと、合同発表会やラグビーワールドカップイベントを開催しました。



港南地区センターまつり  
「合同発表会」

第4期指定管理では、各地域のニーズを把握し、体力測定や健康づくりイベント、スポーツセンター出張教室、サークル立ち上げや指導者の紹介など、積極的に連携・協力し、誰もがいきいきと暮らしていくことができる地域の実現に取り組んでいきます。

- 健康・体力測定会(ロコモチェック 筋力余裕度測定など) ○姿勢測定会 ○健康・運動相談会  
○合同サークル発表会 ○開館記念イベント ○オリンピック・ワールドカップ応援イベント 他

■ 区内企業との協力・連携

● 区内企業への健康経営プログラムの推進

港南区の40代男性の2人1人は、20代の頃より10kg以上増えており、その割合は、男性が市内18区中第1位、女性が第5位となっています。働き世代の健康づくりのために区内企業の皆様の「健康経営」が進むよう、当団体が作成した「横浜市歌」の体操DVD等を配布し、朝の体操習慣を広めていきます。また、港南区健康経営Facebookへの発信や企業への出張指導や測定事業等を実施し、健康経営を推進し、働く世代の健康づくりを支援します。



港南区健康経営 Facebook

私たちは、地域スポーツ団体や地元企業の方々と連携し、港南区のスポーツ振興や賑わいの創出としての事業に協力します。

第3期指定管理期間においては区制50周年記念事業として港南区工業会主催「おとなの体力測定」事業に協力しました。



港南区工業会主催による  
おとなの体力測定

### ■ 地区センターと連携した教室等の開催

スポーツセンターから遠い地域にお住いの区民で、当館に足を運べない方々のために、港南区内の永谷地区センター等で連携事業を行っています。第4期指定管理期間においても、連携事業実施の了承が得られた地区センターにて、健康づくりイベントやスポーツセンター出張教室を実施することでスポーツセンターに来館しづらい遠方の地域の方々に支援します。



毎年好評! 逆上がり教室

### ■ 地域ケアプラザと連携した教室等の開催

スポーツセンターから遠い地域にお住いの区民で、当館に足を運べない方々のために、野庭地域ケアプラザ等で連携事業を行いました。

私たちは、港南区内の地域ケアプラザと連携・協力し、港南スポーツセンターに足を運んだことがない遠い地域にお住まいの方を対象に高齢者のための体力向上プログラムや乳幼児と保護者のための親子体操教室などの事業を地域ケアプラザにて実施することで、運動機会の創出につなげます。



野庭地域ケアプラザでの  
ロコモ予防教室

### ■ 自治会町内会との協力・連携

私たちは、地元の事業者として、自治会・町内会に加入するとともに、更なる連携を深め、地域の活性化・健康づくりに貢献します。

引き続き、自治会、町内会単位での介護予防や認知症予防の体操教室、ウォーキング教室、体力測定など、地域の要望に応じた支援を行います。実施にあたっては、地域の保健活動推進員、町内会、地域包括支援センターと協力することで、スポーツセンターに来館しづらい方々を支援し、一人でも多くの区民が運動・スポーツに親しめるようにします。



日野第1連合町内会「健康体操教室」



大北町内会「体力測定」



● 地域へのスポーツ用具の無料貸出

自治会町内会や地域での運動会、体力測定などのイベントの際に、教室で使用するバールンなどの体育用品のほか、さわやかスポーツの用具を要望に応じて無料で貸出します。



さわやかスポーツ用具



体力測定用具

イ 港南区の健康づくりを推進する取組

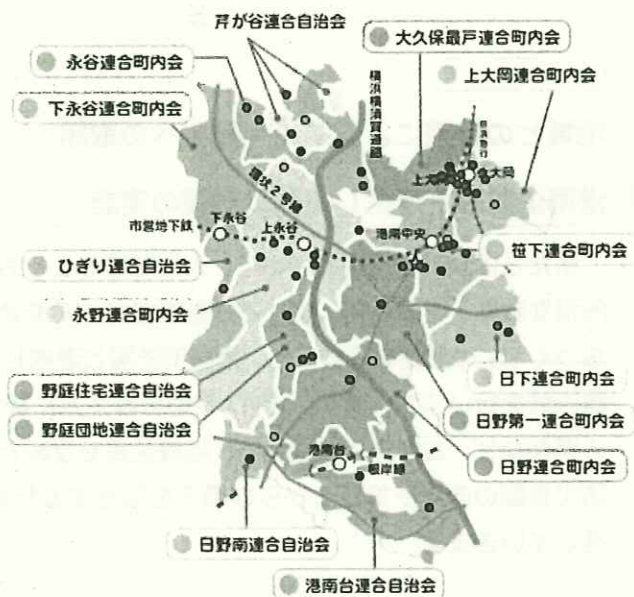
私たちは港南区民の健康増進のために、各地区の多様な主体と協働し、身近な場所でスポーツ・健康づくりに親しめる環境を整えていきます。

港南区のスポーツ振興に携わる中で、21万人の区民に向けて一層のスポーツ振興・健康づくり推進を実現するためには、スポーツセンター単体にとどまった活動だけではならないと実感しています。引き続き、港南区のスポーツ拠点として区内全域でスポーツ振興・健康づくりを推進します。

■ 地域における健康づくりに関する講演・派遣事業の拡充

当団体の健康プログラム等派遣事業は、急速な健康ニーズの高まりにより、区内公共施設や自治会町内会等からの講演・指導依頼が増え、港南区15地区連合町内会のうち14地区連合町内会のエリアで指導実績があります。

私たちは、体力向上や生活習慣病・介護予防、救命救急（AED操作含む）研修等の派遣指導を実施するほか、このニーズに応えるために、当団体の人材活用システムに登録する地域人材の紹介を行います。



港南区連合町内会単位別

件数 58件

19,453人

■ 第3期指定管理期間（平成28年～令和元年）派遣指導実績

主な事業名称

港南区リハビリ教室・横浜シニア大学（健康講座）・港南区シルバー連合会研修会・元気づくりステーション運動指導・食生活等改善推進員養成講座・体組成・体力測定会・脳トレ&ハマトレ講座・ウォーキング指導・子育て支援拠点での運動指導 など



## ■ 港南区内公共施設との事業協力

港南スポーツセンターでは、高齢者を対象とした事業を積極的に実施していますが、当館に足を運んだことがない遠い地区にお住まいの高齢者も多くいます。

特に日野南地区や野庭住宅地区では、高齢化率が上昇していることから、第4期指定管理期間においては、地域ケアプラザや地区センター及び港南区福祉保健センターと連携・協力し、高齢者のための体力向上プログラムを実施することで、高齢者の運動機会の創出につなげます。



出張教室 てんこつ体操  
会場：ラポール上大岡

## ● 港南区中途障害者地域活動センター事業への協力

中途障害者地域活動センター（ワークアップ港南）と連携した脳血管疾患等リハビリ教室において運動指導等で協力します。

また、港南区福祉保健センター、ラポール上大岡など障害者スポーツ支援に携わる関係機関と情報を共有し、身近な施設でスポーツや運動ができるよう仕組みづくりに協力します。



ワークアップ港南での卓球体験

## ウ 地域との連携による防災・防犯への取組

### ■ 港南消防署と連携した防災訓練の実施

私たちは大規模災害において、人命を守るとともに被害を抑制し、円滑な救助・復旧活動に資する機能を維持するため、「災害に強いまちづくり」の推進を基本とし、港南消防署と連携した、初期消火、避難訓練を行います。また、自助・共助の考え方にに基づき、救急法講座の開催など、お客様、教室講師、地域住民を含めた合同訓練を行い、防災意識の向上や日ごろからの備えを強化するため、減災行動を啓発していきます。



港南消防署協力のもと消火訓練

### ■ 防災・防犯 啓発事業の実施

私たちが暮らす地域の特性を知ることは防災・減災・防犯に備える意識づけと地域コミュニティをつくりあげます。港南区運営方針の施策であります「地域の見守り・支えあい、安全・安心のまちづくり」という視点から防災・防犯ウォーキングを実施します。災害時の訓練だけでなく、子どもたちの登・下校時の見守り等における防犯対策も目的とします。



防災防犯ウォーキング

● **スポーツセンター防災運動会**

防災を身近に感じ、楽しく学ぶ機会とした「防災運動会」を開催します。自主防災組織の活性化、地域の防災力の向上を目的とした地域防災ネットワーク活動を行うことにより、多世代の参加者が交流することで、地域住民のふれあい、コミュニケーションの促進につなげます。



防災運動会  
担架リレー(イメージ)

● **港南警察署と連携した啓発事業の実施**

当館は「子ども 110 番の家」の緊急拠点として活用されています。自治会、町内会等がパトロールする時は、進んでこれに参加するとともに、港南区の防災情報メールを毎日受信し、当館近隣において発生した事件などを掲示し、お客様に注意を呼びかけます。



安全安心メールの掲示

● **「振り込め詐欺防止」啓発**

私たちは、反社会的団体の活動撲滅に向けて、港南スポーツセンターの教室やイベントにおいて「振り込め詐欺防止」に取り組んでいきます。港南警察署の協力を得ながら「特殊詐欺防止講座」等に関する啓発事業を開催いたします。



特殊詐欺防止講座

**エ 地域住民の方や地元企業のご協力**

私たちは、近隣の清掃活動や安全管理、エコ活動を実施するなど、できる限り地域住民の方々や店舗、団体の皆様に呼び掛けを行い、協働して事業を推進します。

■ **ご協力いただいた方へ感謝状を贈ります**

港南スポーツセンターをサポートしていただいたボランティアの方々へ、所長から感謝状や記念品の贈呈などを行い、貴重な善意への感謝を伝えます。



さわやかスポーツ普及委員会  
永年表彰状の贈呈

## オ お客様・近隣住民・事業所との意見交換

### ■ 地域懇話会の開催

港南スポーツセンターでは、団体利用・個人利用・教室に参加しているお客様、近隣自治会や町内会などの地域の方々、区スポーツ協会、スポーツ推進委員などのスポーツに関わる団体の方々にお集まりいただき、「地域懇話会」を開催します。

また、各地域団体の会議に参加させていただき、当館の運営に関して様々なご意見・ご要望を伺うことで、指定管理者としてお客様の立場に立ち、地域に根ざした管理運営に努めます。



地域懇話会

### ■ 「港南区新年賀詞交換会」での情報交換

毎年1月に、自治会、町内会や区内の主だった地域団体の方々の交流を目的として、「港南区新年賀詞交換会」が実施されています。賀詞交換会に出席し、自治会、町内会や地域団体の方々と親睦を深め、スポーツセンターの理解促進の場となるよう積極的に情報交換を行います。

### ■ 区民利用施設との協働

港南区では毎年、「区民利用施設交流会」が開催されています。区内の区民利用施設からの事業紹介や事故事例などを情報共有することで、港南スポーツセンターの事業や管理運営に活かすとともに、区全体の地域力の向上に繋がります。

## カ 横浜市及び港南区と連携・協力した事業

当団体は、港南スポーツセンターの円滑な運営とともに、地域振興課が携わる区民対象事業について、積極的に協働し、円滑な連携体制によって地域のスポーツ振興に貢献していきます。





横浜市のスポーツ振興を担う団体として、これまでも港南区の区民対象事業に協力してきました。

### ● 区民イベントへの参加によるスポーツ振興

私たちは、港南区で開催される区民イベントにおいて、スポーツセンターの事業PRを行いながら、スポーツや健康づくりの必要性を訴えていきます。



■第3期指定管理期間に協力している区民対象イベント

事業名	事業内容	事業風景
「かけっこ教室&いのちの教室」 (7月)	スポーツと安全をテーマに親子対象に「かけっこ教室&いのちの教室」をアスリートセーブジャパン(協力)のもと港南区制50周年記念共催事業として開催しています。	
「親子ラグビー教室」 (10月)	2019年に日本で開催されたラグビーワールドカップ2019™機運醸成事業として「親子ラグビー教室」を横浜日野タグラグビークラブ協力のもと港南区共催事業とし開催しています。	
「港南区スポーツエンジョイフェスティバル」	毎年、港南区スポーツ協会主催「スポーツエンジョイフェスティバル」の運営スタッフとして協力しています。	
オリンピックと一緒に空手体験 (11月)	TOKYO2020オリンピック正式種目の空手の体験イベントとして港南区制50周年ひまわりフェスタを開催しています。	

(3) 地域貢献に対する取組

「横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例」に則り、私たちは、地域活動に参加するとともに、区が実施する地域活動を促進するための施策に協力をします。また、地域の活性化・発展のための社会的活動や地元雇用など、地域の公共益に資する活動に取り組みます。

ア 収益を港南区のスポーツ振興に充当します

港南スポーツセンターの管理運営を通して、予算を超える収益が得られた場合は、その一部を区民向け無料還元イベント、区スポーツ協会への協賛など、港南区のスポーツ振興をはじめ、子育て・高齢者支援事業などの財源に充当します。

■ スポーツ・レクリエーションフェスティバルの実施 【再掲】

子どもから高齢者、障がい児・者を対象とした体験教室等、区民向けの還元イベントを開催します。実施にあたっては、地域の方々、区スポーツ協会、さわやかスポーツ普及委員会、区内関連団体等と協働して行います。

## ■ 開館 45 周年記念事業の実施

港南スポーツセンターは、令和 7 年には開館 45 周年を迎えます。日頃からご利用いただいているお客様をはじめ、地元自治会、町内会、地域で共に活動する団体の皆様など、支えていただいた多くの方々への感謝の気持ちを込めた「開館 45 周年記念事業」を実施します。

## イ 地域の事業者としての取組

### ■ 地元住民の方の雇用

私たちは、清掃、受付、事務補助を行うコンシェルジュスタッフを、港南区の住民から採用します。また、区スポーツ協会に加盟する種目団体の方々や、港南区在住のインストラクターを積極的に教室講師として登用することで、地域に根ざした親しみのある施設づくりを行います。



港南区のことならお任せください!

### ■ 地域活動への参加

港南スポーツセンターでは、職員が地域での清掃活動や福祉活動に協力する等、積極的に地域活動に参画しています。また、地域でのボランティア活動に積極的に参加します。

#### ■ 港南スポーツセンター職員のボランティア活動実績

自治会・町内会役員、地域指導者登録（港南区・栄区）、障害者指導者、老人ホーム慰問指導、地域バドミントン愛好会総合型スポーツクラブの運営、横浜ラポール障がい者補助、大岡川清掃、地域パトロール、交通安全登下校の見守り、地域でのウォーキング事業企画等

### ■ 植木の手入れや樹木管理を通じて地域から愛着の持たれる施設づくり

美観を損なうことのないように、日ごろから外構管理を徹底して行います。特に、敷地外歩道の街路樹の落ち葉などが施設周囲の排水溝に詰まらないよう、周辺道路を含めて毎日の清掃を欠かさず行うようにし、地域の方々から愛着を持たれる施設環境づくりを行います。



施設周辺の美化に努めます





## 職業体験・インターンシップの受け入れ協力

港南区全中学校の職業体験を受け入れます。また、インターンシップ、小学生の社会科見学、大学や体育専門学校等からの教育実習生の受け入れにも協力します。

### 受け入れ実績（平成 28 年度～令和元年度）

小学校：南台  
 中学校：東永谷、上永谷、日野南、笹下、港南、丸山台、港南台第一  
 野庭、芹が谷  
 高校：緑園総合高校  
 その他：市立教員（リーダーシップ研修）、県立教員 など



港南中学校職業体験

## 地域と共に持続可能な社会の実現

地元の事業者として、持続可能な社会の実現を目指し、地域のための募金などのチャリティ活動に積極的に取り組みます。

### ● 赤い羽根共同募金への協力

受付に共同募金箱を設置します。収集した募金は「港南区社会福祉協議会」に寄付します。

### ● 視覚障がい児・者と盲導犬を応援

受付にラブラドル募金箱を設置し、視覚障害児・者の支援活動や盲導犬の啓発運動を推進します。



ラブラドル募金箱

### ● 使用済切手収集で国際貢献

教室申し込み時に使用された使用済の切手を集め、アジア・アフリカの医療援助団体へ送付することでワクチンの提供など、現地の医療活動に貢献します。

### ● インクカートリッジ里帰りプロジェクトへの協力

使用済インクカートリッジを再資源化し、環境貢献に加え、環境保全活動に取り組む機関への寄付を行う里帰りプロジェクトに協力します。港南スポーツセンター内に使用済のインクカートリッジの回収箱を設置し、お客様にもご協力いただきます。



里帰りプロジェクト  
回収箱

## ウ プロスポーツ・商工団体等との連携

### ■ 地元のトップスポーツとの連携

横浜には、野球、サッカー、フットサル、バスケットボール、ソフトボール、アイスホッケー、ラグビーなど「トップスポーツ」に関わる 11 のスポーツチームがあります。

当団体は、令和 2 年 10 月に創設された「横浜スポーツパートナーズ」と連携し、横浜市のスポーツ振興施策として、市民スポーツの振興や夢や感動を共有する機会を創出します。



スポーツパートナー発足式典



横浜F・マリノスサッカー教室



ビーコルセアーズ  
バスケットクリニック教室

### ■ 地元商店街等との連携

商店街が地域住民のためのにぎわいと交流の場となるよう、商店街でイベントを開催する際は、区役所、商店街連合会、商工会議所等と連携し、積極的にイベントに参画します。

また、商店街チラシの館内掲示やホームページへの商店街情報の掲載など、商店街の活動を積極的にPRします。商店街の活性化を通じ、地域社会におけるつながりを強化し、コミュニティを醸成します。

### ● 上大岡まつりへの事業協力

上大岡連合町内会と上大岡社会福祉協議会が主催する「上大岡まつり」に事業協力し、スポーツ体験を通じ、地域の方々のスポーツ・運動のきっかけづくりを行います。



「上大岡まつり」スポーツ体験

### ■ 地産地消に貢献

私たちは、お客様に地元の野菜や果物を消費していただくため、「JA 横浜日野」と連携し、スポーツ・レクリエーションフェスティバル等イベントの際に地元野菜や果物の即売会を実施します。取れたて野菜のほか、「ふるさと港南」を味わう企画を地元農家の方と取り組みます。



大人気地元の野菜販売

### ■ 日本体育大学との事業協定の締結

当団体は、日本体育大学と社会貢献推進事業に関する協定を結んでおり、互いの資源を有効に活用することで、地域住民の健康の維持増進、活力ある地域社会の実現を目指しています。

港南区内で開催する市民対象講座や実技指導の講師、体力測定の実施、スポーツイベントの運営補助など、各種事業を通じて連携し、港南区内におけるスポーツの普及・振興を推進します。



## エ 障がい児・者等の社会活動の促進

### ■ 障がい児・者が作成した作品等の販売協力・事業所からの優先的調達

港南区内の障がいのある方々のための地域作業所の集まり「こうなん来夢」と連携して、港南スポーツセンター内での作品展示やパン等の販売協力を行います。

「障害者優先調達推進法」や「横浜市における障害者就労施設からの物品等の調達方針」に則り、港南スポーツセンターでは、障がい者の経済面の自立を進めるため、福祉団体や就労施設から、優先的・積極的に物品等を購入します。



大人気！そよ風の家パン販売



フラワーロードから購入した花の植え替え

## オ 環境保全活動への取組

当団体は、持続可能な社会の実現に向け、港南区の施策に貢献し、区民、団体、他の事業者と連携して、環境保全活動に積極的に取り組みます。

### ■ おはよう清掃・港南区ハマロードサポーターへの参加と「緑化事業」の推進

吉原南町内会の会員として、毎月1回の「おはよう清掃」やハマロードサポーターとして、身近な道路を守り育てていく清掃活動や樹木の水まきなどを定期的に行っていきます。

港南スポーツセンター入口にある花壇を活用し季節の草花を植え、花と緑にあふれる環境先進都市横浜の実現に協力します。



月1回の「おはよう清掃」



入口前の花壇

### ■ 「もったいないをありがとうへ」

横浜市では、「ヨコハマ3R夢（スリム）プラン」において、分別・リサイクルのみならず、最も環境にやさしいリデュース（発生抑制）の取組を進めています。

港南スポーツセンターでは、お客様の使わなくなったスポーツ用品を他の方に譲り渡す「もったいない運動」を継続して実施します。また、各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄り、地域の福祉団体や施設等へ寄付する「フードドライブ」を推進します。



フードドライブで集まった食品の寄付

# モニタリングについて



## (1) モニタリング・評価・改善に関する基本方針

指定管理者として施設運営を行うようになった後は、上質なサービスを利用者に提供し、かつ平等性・公平性を保ち続けることが重要になります。

当団体は、「住民サービスの向上が図られているか」「平等・公平であるか」「効果的な運営が行われているか」等の内容を内部及び外部から常にチェックし、その水準を維持・改善するための手法として、「モニタリング」を積極的に活用しています。

「モニタリング」とは…

自己・相手又は第三者により適正かつ公平なサービスが提供されているかを確認する行為

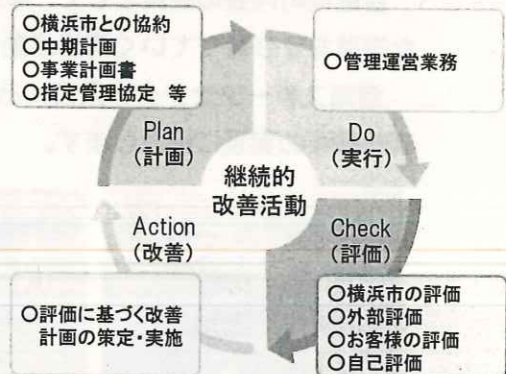
### ■モニタリング手法の分類

実施主体 (評価者)	実施 頻度	実施内容	
		評価手法	評価手法
指定管理者	日常	目標管理 品質管理	・施設料状況 ・クレーム状況 ・事業収支状況 ・業務実施状況 等
横浜市(港南区) 選定委員会	適時	独自調査 (立入・監査等)	・履行状況 ・施策協力状況 運営管理水準 事業者経営状況 等
第三者 (利用者・専門機関等)	適時	独自調査 (立入・監査等)	・利用者対応水準 ・施設環境 ・提供サービス水準 運営管理水準 等

## (2) PDCA サイクルによる組織的な改善活動

私たちは、提案内容の達成及び業務水準を継続的に改善するために、PDCA サイクルを実行するマネジメントシステムを構築しており、各年度の事業計画書に基づいた計画的な業務履行と定期的な評価を徹底します。

特に、評価 (Check) と改善 (Action) に必要なモニタリングを強化し、多様な評価を受けることで、効果的な改善活動を行います。



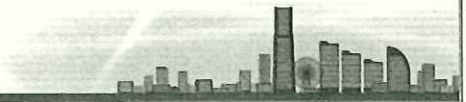
### ■提案内容を確実に履行できる組織的な業務管理

指定管理者は、提案内容を確実に履行し、お客様・港南区からのご要望に的確に応じていくことが最大の使命であると認識しています。港南スポーツセンターの管理運営にあたっては、所長が統括責任者として施設の運営状況を把握し、事業評価 (月 1 回) や職場での実務研修 (OJT) などを通じて、業務水準の向上を図ります。

港南スポーツセンター年次計画や提案事項は、月次会議や当団体管理のスポーツセンター所長会議にて、管理職がその進捗を管理します。

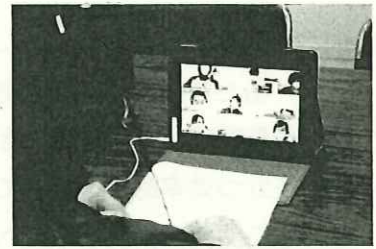


オンラインによる所長会



## ■ 月次執行会議による状況・課題の共有

港南スポーツセンター所長と本部職員で、事業評価を兼ねた月次執行会議を実施します。この会議は、利用者数や収入実績の目標達成状況の確認や、お客様からのご意見内容等を踏まえた業務評価を行い、課題を共有し、改善に繋げる仕組みとします。



オンライン会議を採用しています

### ■ 月次執行会議での確認事項

- |                         |
|-------------------------|
| (1) 年度目標数値の達成状況(提案事項含む) |
| (2) 収支計画の執行状況           |
| (3) 修繕計画の履行状況           |
| (4) 職員のお客様対応や施設の美観      |
| (5) 苦情・要望・事件・事故対応報告     |
| (6) お客様満足度の調査結果         |

## (3) 指定管理者としての自己評価

横浜市の指定管理者制度におけるモニタリング業務は、「横浜市指定管理者制度運用ガイドライン【第14版】」にて、「施設の管理運営の水準等について、日常的・継続的に確認を実施すること」と明示されています。

私たちは、港南スポーツセンターの設置目的や協定書・仕様書（業務の基準）を踏まえ、指定管理者として提案内容達成及び業務水準を向上させるためのモニタリング体制を実行していきます。

### ア 統括責任者を中心とした施設内での自己評価

#### ■ セルフモニタリング（自己評価）プログラムの作成

港南スポーツセンターの運営において、良質なサービス・快適な環境・安全安心の確保を基本に、今後もスポーツ振興の拠点として貢献できるよう、常に新たな事業展開を図っていきます。また、少ない費用で効果的に管理運営をし、創意工夫により利用者満足を獲得するなど、多角的な視点から運営の質を高めていきたいと考えています。

そのため、港南スポーツセンター「自己評価プログラム」を作成し、目標を定め自ら事業を評価することで、PDCAサイクルを実行し、運営の質の向上を図ります。

#### ■ 自己チェックシートによる業務確認

当協会が自ら評価を実施するにあたって、果たすべき業務水準（サービスレベル）を事前に定め、それに基づいた「自己評価チェックシート」を作成し、施設の総括責任者が、定期的（年4回程度）なセルフモニタリングを行うことで、自ら課題点を客観的・定量的に洗い出していきます。

区分	評価視点
事業全般	● 事業利用者満足度（運営形態・事業内容・サービス内容・施設環境等）
運営管理	● 施設運営（移設稼働率・案内件数・クレーム件数・内容・人員管理等） ● 事業運営（事業数・参加状況・実施内容・収支状況等） ● サービス（実施内容・利用状況・収支状況等）
施設維持管理	● 安全管理（設備機器・可動状況・保守状況・修繕状況・人員管理等） ● 美観管理（清掃・インスペクション） ● 環境保全（省エネルギー管理状況・ゴミの排出量）



## イ 組織全体で対応するモニタリング

### ■ 内部監査の実施

私たちは、当団体内部監査要綱に基づく監査を毎年実施しています。この内部監査は、文書管理、労務管理、経理処理、情報ネットワーク等に関する事務の執行状況や、現金出納が規定に沿って適正かつ効率的に行われているか監査するものです。港南スポーツセンターにおいても、監査受審による業務点検及び改善への提言を受け、業務の適正化・効率化を図ります。

### ■ 法人本部による覆面調査

私たちは、お客様の声を傾聴するための心構えや姿勢、「おもてなしの心」あふれるサービスの実践方法を学ぶために全スタッフが接客研修を受講しています。

法人本部による覆面調査を行い、研修（Plan）内容が実施されているか（Do）を品質チェック（check）します。これにより、利用者目線から見た偽りのない評価や利用者の期待値を明らかにできると同時に、調査によって得られる生の声がスタッフの働き甲斐を高める重要な要素となり、顧客満足を大事にする風土を生み出し、サービス品質向上の土台となるものと考えています。

覆面調査評価項目例	
総合項目	他者への勧誘期待／継続利用の可能性／接客対応／利用効果／施設機能／環境（美観）／事前期待（利用経験・施設機能・利用目的）
業務チェック	電話対応・入館時／マシンルーム／トレーニング室／研修室（教室等）／館内の雰囲気・清潔感／退館・見送り／各シーンでの対応状況
担当者の感想・意見	自由意見（良かった点・改善を求める点等）／印象に残ったスタッフ（氏名・理由）

## (4) 港南区・第三者評価機関によるモニタリング

### ア 港南区によるモニタリングへの協力

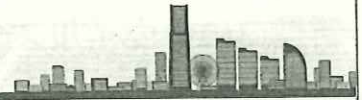
港南スポーツセンターの包括的な管理責任者であり、指定管理者の指定責任を有する横浜市（港南区）の立場と責務を理解し、区によるモニタリング（監査）に積極的に協力します。地域振興課や第三者評価機関等による実施状況確認に対して、十分に説明するとともに、求められる帳簿書類等の提出には、原則全てに応じるなど、区政に対する全面的な協力を行います。

モニタリングの結果、万が一、提供サービスの水準に関し、区から改善指導を受けた場合には、直ちにその原因を究明し、即座に改善の措置を施し、その経過と結果は遅滞なく報告します。

### イ 横浜市第三者評価を改善活動に活かします！

横浜市の指定管理者制度では、公正で客観的な第三者評価機関による評価制度を導入しています。

横浜市第三者評価の受審をうけることで、サービスや業務の質の評価のみならず、施設管理上の「良い点」「悪い点」を外部の視点で明らかになり、自分たちの管理運営を見つめなおす機会となり、お客様サービスの向上や業務改善を行い、より良い施設運営につなげます。



## (5) 第三者からの評価とモニタリング

### ア 港南スポーツセンター 地域懇話会【再掲】

私たちは、港南スポーツセンターが区のスポーツ振興と健康づくり推進に有効に機能するよう、地域住民（自治会・町内会・スポーツ推進委員・区スポーツ協会）やお客様など、様々な立場の方からご意見をいただく「地域懇話会」を開催します。パブリックコメントの収集のように、利用者・各団体等の関係団体・地域住民と膝を突き合わせ、施設に関する多くのご意見をいただく機会を設けることで、より良い施設運営を実現します。



地域懇話会での意見交換

いただいたご意見や改善策を館内・ホームページなどで公開し、港南スポーツセンターの改善活動をお示します！

### イ 外部機関による評価の実施

横浜市が実施する指定管理者評価とは別に、私たちの独自の取組による第三者機関による評価を実施します。

実施にあたっては、公共スポーツ施設の運営知識を有し、お客様からのご意見聴取やその分析、ヒアリング等を通じて、専門的な面での的確なアドバイスできる機関を厳選して行います。



外部評価の様子

格付け AA 評価をいただきました！（横浜市緑スポーツセンター）

日本スポーツ施設協会が実施する「指定管理者外部評価」（平成 30 年 12 月実施）で、当団体で管理運営している横浜市緑スポーツセンターが「A A 評価：経営体制及び管理運営体制が安定的かつ良好な状態」と評価格付・認定されました。



### ウ お客様の声と満足度の収集

私たちは、様々な手法を活用し、お客様からの大切なご意見やご要望を積極的に収集します。

いただいたご意見やご要望には、お客様の視点にたつて丁寧に対応し、職員ミーティングで共有します。

お客様アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○団体代表者・個人利用のお客様・教室参加者を対象に四半期ごとに実施</li> <li>○施設サービスや管理状況、教室プログラムや指導方法などの満足度を調査</li> <li>○モニタリング結果を施設内に掲示</li> </ul>
ご意見箱	<ul style="list-style-type: none"> <li>○気兼ねなく記載できるようにフロントから離れた場所にご意見箱を設置</li> <li>○総括責任者の所長が回答し、10日以内に施設内に掲示</li> </ul>
横浜市コールセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>○横浜市コールセンターに設置されているご意見ダイヤルを積極的にPR</li> <li>○施設内だけでなく、ご意見を自由に寄せることが可能</li> </ul>
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○電話やファックスだけでなく、問合せ受付メールを整備</li> <li>○施設内のみならず、当団体全体でご意見を収集する環境を整備</li> </ul>

寄せられたご要望・ご意見には、総括責任者である所長自ら回答し、その内容を施設内掲示やホームページなど、市民の皆様が目につくところに公開し、回答・報告します。

# 新型コロナウイルスの感染症等への対応

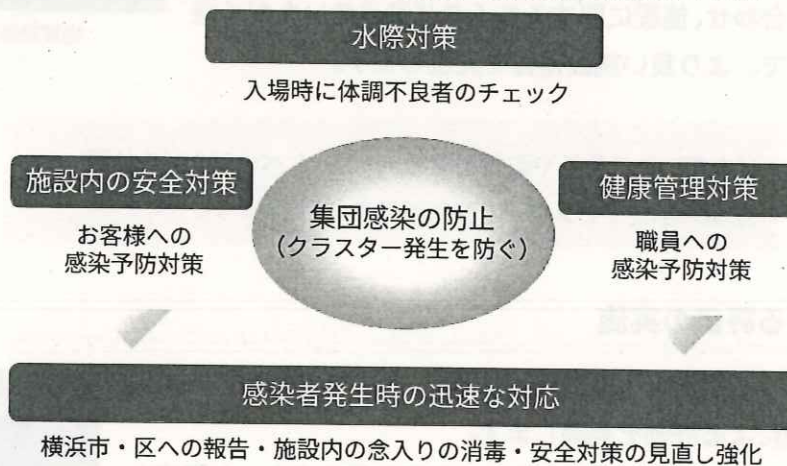


## (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対策

### ア 感染症拡大防止の考え方

令和3年5月現在で日本国内にまん延している新型コロナウイルスの感染症拡大防止に向けて、当団体が運営するスポーツ施設では、横浜市「スポーツ施設再開ガイドライン」をはじめ、スポーツ庁、文化庁、日本フィットネス産業協会、各種スポーツ団体等のガイドラインに基づき、感染防止を徹底し運営しております。

#### ■当団体の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の考え方

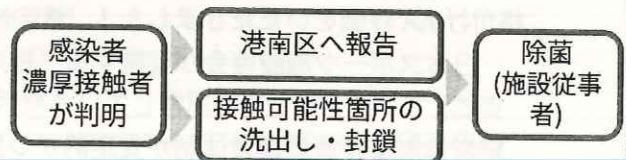


### ■施設内での感染者発生時の対応

#### ●早期の消毒と二次感染の防止

利用者の感染者が発生した場合、また濃厚接触者であることが判明した場合は、迅速に港南区役所の地域振興課に報告し、右図の流れで対応いたします。当該利用者が利用した可能性がある室場・空間・備品類を迅速に洗い出し、除菌を行うことで、感染拡大を防止します。

#### ■感染者・濃厚接触者が判明した場合のフロー



※当該利用者の特定や詮索がなされることが無いよう、プライバシーの保護を重要視します

### イ 新型コロナウイルスへの具体的な感染対策

#### ●体調チェックの徹底

入館時（ご利用前）のマスクの着用、検温、手洗い、除菌ポンプでの手指消毒・発熱・息苦しさなど体調不良の方には、入館をご遠慮いただきます。また、入口にサーマルカメラを設置しており、利用の有無に限らず、非接触での検温チェックを実施します。







【お客様への対応】

受付時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクリル板や透明のビニールカーテン等を設置します。</li> <li>・お客様が並ぶ場合は、距離を保てるように床にしるしをつけます。</li> <li>・マスク着用・三密回避等、お願いを口頭や掲示、チラシ配布で呼びかけます。</li> </ul>
更衣室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルディスタンスを保てるようにロッカーの間引きを行います。</li> <li>・人数制限を行い、出入口に人数がわかるように札をおきます。</li> <li>・シャワーの利用制限(横浜市のガイドラインにより規制)をします。</li> </ul>
トレーニング室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング室の混雑状況は、ホームページでお知らせします。</li> <li>・原則トレーニング中のマスク着用をお願いします。</li> <li>・除菌ポンプと雑巾セットを渡し、マシン使用後の除菌をお願いします。</li> <li>・マシンの間隔をあけてパーテーション等を設置します。</li> </ul>
各室への利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入口に除菌ポンプを設置します。</li> <li>・入口にマスク着用・三密回避などのお願いを掲示します。</li> <li>・職員による注意喚起の放送し、協力を呼びかけます。</li> <li>・できる限りの換気をします。(窓開け・空調設備)</li> <li>・2時間ごとに使用後は、職員がドアノブ等の消毒清掃を実施します。</li> </ul>

【職員の対応】

出勤前	<p>(体調チェックの徹底)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検温及び体調確認を行い、体調不良がある場合は自宅待機とする</li> </ul>
勤務中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こまめなうがい、手洗い、手指消毒を徹底し、チェックシートに記入します。</li> <li>・清掃時などの作業時は、ゴム手袋を着用し、お客様と接する場合は、マスクのほか、必要に応じてフェイスシールドを着用します。</li> <li>・勤務中に体調不良を感じた場合は、直ちに帰宅させます。</li> </ul>



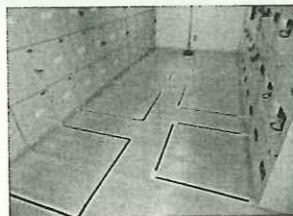
窓口受付飛沫防止



感染対策取組書の掲示



入館時の検温、アルコール消毒



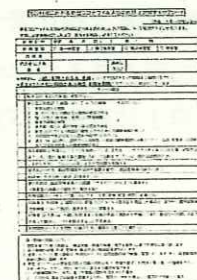
更衣室・シャワー室の使用制限



ソーシャルディスタンス



トレーニング室飛沫防止



チェックシート記入の徹底



## ■ 感染予防に対する取組

### ● 強アルカリイオン電解水による除菌

水道水を電気分解し生成する洗浄水である強アルカリイオン電解水を日常清掃に用いることで、施設内各所の除菌効果を高めます。強アルカリ性(pH13.1)の特性により、細菌やウイルスを30秒~1分間で除去されることが実証させているとともに、合成洗剤とは異なり界面活性剤や有害な化学物質を含まないことから、人体や自然環境への影響も緩和します。



### ● イベント時の対応

当団体の管理施設では、スポーツ庁『スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン』等に則り、対策を行います。「開演前の座席等の消毒」、「観覧席の距離を十分とる」、「入退場の際に密集にならないように導線やスタッフの配置を行う」ことを徹底します。



距離を取った受付



参加中のディスタンス

## ワクチン集団接種会場としての対応経験を活かします！

当団体が運営するスポーツセンターは、新型コロナウイルスのワクチン集団接種会場となりました。「予約方法を教えてほしい」「会場までのアクセスが知りたい」等、予約開始前から、区内外の皆さまから、毎日お問い合わせがきております。

私たちは、横浜市のワクチン担当者と連携し、混乱をきたさないよう、誠実に対応させていただきました。今後も、ワクチンの接種がスムーズに進行するよう、横浜市に協力してまいります。

### ■ ワクチン集団接種会場の様子



会場設置への協力



ワクチン接種に関する最新情報の掲示

## ウ 教室事業等実施時の工夫

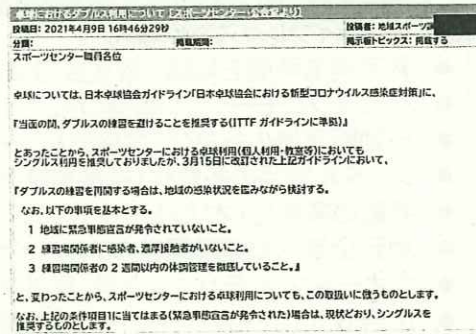
### ● 参加者定員の柔軟な設定

参加者であるお客様の安全を最優先にして、原則として、ソーシャルディスタンスを保てるように、第1体育室及び第2体育室は、6㎡に1人、研修室は、4㎡に1人を定員の原則とします。



■スポーツセンターの教室実施例

室場	種目	制限人数
第1体育室	バドミントン	66名
	卓球	84名
第2体育室	ヨガ	80名
	親子リトミック	30組
研修室	ヨガ	15名
	健康マージャン	15名



日本卓球協会ガイドラインに基づくダブルス緩和をいち早く通知

●参加者受付・支払いの簡素化

事前受付教室の申込みを、スマートフォンやパソコン、往復はがきでできるようにしています。これまで、参加料の払い込み期間を指定していましたが、来館する機会を最小にするため、クレジットカード決済や、教室初回来場時の支払いができるよう、柔軟に対応してまいります。

■教室当日の具体的な感染防止策

【講師への対応】

出勤前	・検温及び体調確認 →体調不良がある場合は自宅待機とし、教室を中止または延期します。
レッスン前	手指消毒を行い、マスク及び必要に応じてフェイスシールドを着用します。
レッスン中	・空調及び窓を開けて換気を行います。 ・ソーシャルディスタンスを保てるよう、指導を行います。
レッスン後	・参加者の体調チェックを行います。 ・使用した備品や器具の消毒を行います。

【参加者への対応】

レッスン前	・教室の中止が決定した際は速やかにホームページや館内で告知をします。 ・体調チェック表に記入してもらい、体調不良がないかを確認します。 ・体調不良が確認された場合は、参加をご遠慮いただきます。 ・手指消毒を行い、マスクや必要に応じてフェイスシールド着用をお願いします。
レッスン中	・他の参加者とソーシャルディスタンスを保てるようお願いをします。
レッスン後	・手洗いや手指消毒の実施をお願いします。

エ 料金収入減に対する対応策

ヨガやピラティスの教室は、中高年だけではなく、働き世代や子育て世代にも人気の高い教室です。私たちは、これらの教室にオンラインレッスンを導入し、教室数を増やして収入増を図ります。また、企業への健康経営の推進のアドバイザー費用、地元企業のホームページや体育室への広告収入増など、新たな収入の方策を実施します。

オンライン事業はすでに20本以上実施しています!



■第4期指定管理の収入増加策

- オンラインレッスンの導入
- 教室開催時間を短縮し教室数増加による教室事業収入の増収
- ヘルスプロモーション事業の拡大
- 自動販売機の多角化(本格的なコーヒー・軽食・アイス等)
- レンタル物品の多角化(携帯電話充電・プロジェクター等)
- 物販の多角化(オリンピック公式グッズ、スポーツ用品・スポーツウエア等)
- 地元企業への健康経営のアドバイザリー料
- ウォーキング、ランニング等、屋外スポーツイベントでの増収
- 広告収入(ホームページへの広告掲載・体育室内看板)

(2) with/after コロナを見据えた施設運営・事業展開

ア with/after コロナを見据えた施設運営

本施設の施設運営では、指定管理者の経費負担で新型コロナウイルスに感染させない対策を講じることに加え、お客様が当施設を利用する上で、「不安」を感じさせないことが大切だと考えます。

私たちは、館内やホームページにて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の情報を公開し、安心・納得して施設を利用していただきます。また、施設では、常に衛生関係に気を配り、清掃や点検等を適切に行いながら、確実に感染防止対策を実施していきます。

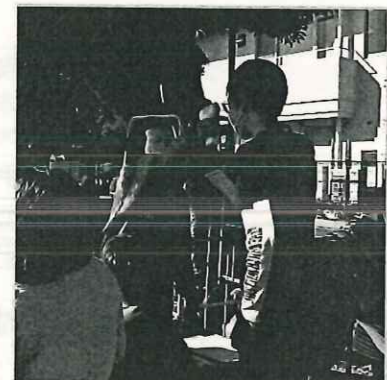


手すりの消毒

イ with/after コロナを見据えた事業展開の方針

私たちは、横浜市や港南区の指示を受けて、新型コロナウイルスの感染防止に伴う休館や、開館時間の短縮に合わせて、教室事業等の縮小、オンライン事業など楽しい事業を実施します。

コロナ禍では開催できなかった「スポーツ・レクリエーションフェスティバル」「ウォーキングイベント」「障がい者や健常者が集う事業」など、多くの方が集うイベントを「新しい生活様式」の条件の中で、安全対策を実施しながら行い、安全で安心した環境でスポーツの楽しさを伝え続け、人々の笑顔やふれあいを取り戻します。



入場前の検温



合同サークル発表会

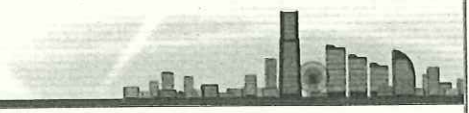


はっち祭



ポッチャ体験会

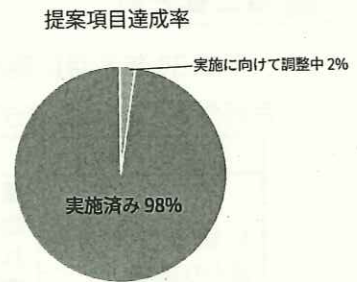
その他



ア 第3期指定管理提案事項の達成状況

私たちは、安全・安心・快適な空間の確保とコスト削減、社会の変化や市民ニーズの多様化に対応した高品位なサービス提供を実行し、施設の価値を高めてきました。

提案事項の達成状況については、月次執行会議及び四半期毎に事業評価会を実施しており、PDCAサイクルに基づいて進捗管理を行っています。第3期指定管理期間の進捗状況として2021年6月現在で98%（328項目中320項目）の達成率となっています。未達成項目については、引き続き実現に向け取り組みます。



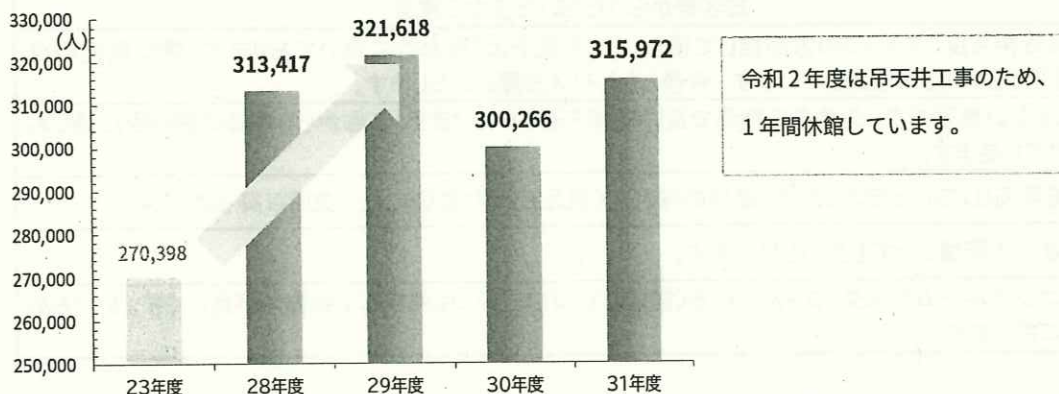
イ 具体的な取組の成果

第3期指定管理期間では、スポーツの新たな場と機会の提供、地域と連携したスポーツ事業など、創意工夫による事業を展開してきました。

その結果、港南スポーツセンターの利用者数は、第2期指定管理初年度の平成23年度と比較すると年間最大でおよそ5万人増加しました。収入（指定管理料を除く）についても、平成23年度の約64,854千円から平成29年度には約86,177千円へと約1.3倍に大幅増幅しました。

また、修繕費用については、28年度からの3年間では、毎年提案額以上（年間250万円：税抜き）執行し、施設の維持管理に努めました。

港南スポーツセンター利用者数



■主な修繕の内容

年度	執行額 (税込み)	主な修繕
H28年度	3,601,383円	高圧引き込みケーブル更新
H29年度	5,300,531円	冷却塔修繕
H30年度	3,231,921円	第3体育室空調機更新

3年間で提案額よりおよそ450万円以上の修繕を実施しました。  
 ※H31年度は次年度の天井改修等工事の内容により執行額が提案額より低くなっています。



## ウ 第三者評価・お客様満足度アンケート

### ■ 第三者評価

平成 30 年 8 月に実施した第三者評価において、業務水準・目標水準を達成できていることから、良好な評価をいただきました。

主な評価項目	港南スポーツセンター評価結果(抜粋)
地域及び地域住民との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地区センター等から依頼を受け、当センター職員を派遣して幼児～小学生対象の運動指導を行ったりと、当スポーツセンターを飛び出して、地域全域で活動を展開しております。</li> <li>■ 町内会や、自治会の活動にも参加しておられ、地域での存在感は大変高いと思われまます。</li> </ul>
利用者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者アンケートや、コミュニケーション・カード、また受付カウンターでの直接聴取内容等、幅広く意見を集めて、『苦情・課題抽出対応記録』に一元的に管理されているところは、大変有益と評価できます。</li> <li>■ 託児サポート対応可能日を、広く、平日3日に亘って設定されておられることも、利用者目線です。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 気軽に行えるウォーキングの教室や講座、イベントを区内全域において実施し、正しい歩き方や楽しいウォーキングを指導しておられること等、高齢化社会の進展に対応して、介護予防、普及、啓発に、大きな効果を生んでいることと推察します。</li> </ul>

### ■ お客様満足度アンケート

毎年 2 回実施しているお客様満足度アンケートにおいて、平成 28 年度～31 年度までの期間、「満足」「やや満足」を合わせ、平均して 92.5%の高い満足度をいただくことができました。

お客様からいただいた主なご意見
いつも気持ち良くスタッフの方が接して頂き、とても気分よく使わせて頂いております。常に設備の点検・清掃もされており感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。
とても楽しい教室です。先生のご指導で良い時間を過ごしています。これからも身体の続く限り、楽しんで続けていきます。
照明を明るくしていただいたので、卓球の球が良く見えるようになりました。次回以降もよろしく。
高齢者への配慮がとても良いと思います。
トレーニングルームのスタッフさんが明るく挨拶してくれて、いつも利用して気持ちが良いです。いつもありがとうございます。